

まえがき

平成11年3月に告示された、新しい学習指導要領に基づく新教育課程が、平成15年度から本格実施されますが、各学校においては、創意工夫を生かした、特色ある教育課程の編成が着実に進んでいることと思います。

新しい学習指導要領については、平成12年度から移行期間となっており、すでに多くの学校において、「総合的な学習の時間」や学校設定教科・科目などが積極的に実施されています。平成14年度は、「総合的な学習の時間」については、全日制・定時制を併せて、108校で実施されており、学校設定教科・科目については、128校において、144科目が設定されています。

また、新たな教科「情報」などの効果的な授業展開や、卒業に必要な修得単位数の縮減、授業の一単位時間の弾力化なども、新教育課程実施上の重要な課題であり、各学校の実態に応じて、適切な取組が求められています。

北海道教育委員会では、「高等学校教育課程研究協議会」などを通して、今回の改訂の趣旨の徹底や内容の理解が図られるよう努めているところでありますが、各学校においては、新学習指導要領についてより一層研究を深め、地域や学校の実態、課程や学科の特色、生徒の心身の発達段階及び特性等を十分考慮して、主体的で個性がにじみ出た教育課程を編成されますよう心から願うものであります。

この「手引」は、そのための一つの資料として作成したものでありますので、校内研修をはじめ様々な機会に十分活用されることを期待いたします。

本冊子を作成するに当たり、お忙しい中で御協力いただいた方々に厚くお礼を申し上げます。

平成14年10月

北海道教育庁生涯学習部高校教育課長

真 田 雄 三